

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年12月4日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年12月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1/2号機排気筒解体工事における内周切断装置チップソーの噛み込みについて】 1/2号機排気筒解体工事における内周切断作業中、チップソーの噛み込みが発生。クレーンの旋回やクレーンで筒身を引っ張り荷重調整を行いながらチップソーの抜き差しをしたが解消されなかった。その後、チップソーモーターが傾いていること、および、内周切断装置の旋回機構の動作不可を確認。噛み込み解消のためにチップソーを抜き差しする動作をしたことにより、チップソーモーターに引っ張る力が加わり傾いたと推定。 また、クレーンの旋回や荷重調整により内周切断装置に無理な力が加わり、旋回機構が損傷したと推定。搭乗設備により作業員が昇筒し、人力による筒身切断を完了。 今後、修理予定。</p>	G II	11月27日
2	<p>【地下水バイパス移送ポンプ(B)制御盤 盤内温度低下について】 地下水バイパス移送ポンプ(B)制御盤に設置してある電子クーラー(冷房・暖房)が故障したため、外気温の低下に合わせ、警報「移送ポンプ(B)制御盤 盤内温度異常」が発生。 なお、当該制御盤の機能に影響はない。 今後、交換予定。</p>	G III	11月29日
3	<p>【K2エリア現場盤 盤内温度低下について】 外気温の低下に合わせ、K2エリアの現場盤の盤内温度が低下し、警報「K2エリア現場盤盤内温度異常警報発生(盤内温度低)」が発生し、その後、自然復帰した。 ヒーターが設置してあったにもかかわらず、盤内の温度が低下して警報が発生。 なお、当該現場盤の機能に影響はない。 今後、原因調査予定。</p>	G III	12月1日
4	<p>【雑固体廃棄物焼却設備の二次燃焼器バーナ流量計ユニット(A)の軽油出口配管安全弁吹き出し管の油受け皿の油溜まりについて】 雑固体廃棄物焼却設備の二次燃焼器バーナ流量計ユニット(A)の軽油出口配管安全弁吹き出し管の油受け皿に油が溜まっていることを確認。 当該安全弁から油がにじみ、安全弁吹き出し管を伝い油受け皿に溜まったと推定。 現在、油のにじみは止まっており、設備の運転に影響はない。 今後、交換予定。</p>	G III	11月29日
5	<p>【サブドレン他浄化装置 フィルターの在庫数の差異について】 サブドレン他浄化装置は4種類の前フィルターにて浮遊物質等を除去しているがフィルター交換作業時、1種類のフィルターの在庫が1つ少ないことを確認。 調査したところ、2種類のフィルターの数量が管理システムの在庫数と現場の実際の在庫数に違いがあることを確認。(4種類のフィルターの内、1種類の数量が1つ多く、他の1種類の数量が1つ少なかった。) このことより、前回のフィルター交換時、型番の確認を怠り、本来、使用すべきフィルターではないフィルターを使用してしまったことが原因と推定。 当該前処理フィルターの後段に有る吸着塔の差圧に有意な変化は無かったこと、および、分析結果から浄化能力に影響がないことを確認。</p>	G III	12月2日